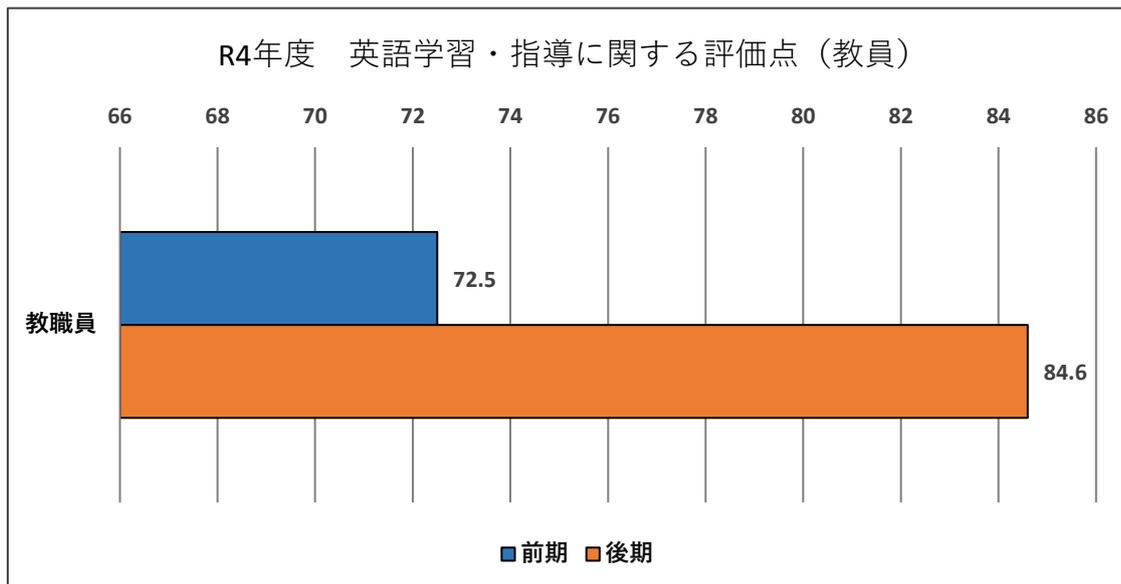


令和4年度 英語学習に関する学校評価



○実施時期 前期：7月・後期：12月

○質問項目

教職員：子どもたちが関心や意欲をもって英語の学習に取り組めるように工夫し、その成果が現われてきた。

（とてもそう思う・そう思う・あまり思わない・まったく思わない）

※評価点について、【強い肯定】【弱い肯定】【弱い否定】【強い否定】の4段階で評価。その結果を【強い肯定】100点、【弱い肯定】75点、【弱い否定】25点、【強い否定】0点として得点化しました。50点で【ふつう】と考えています。

○考察

「モジュール学習での英語は、メイソン先生との授業で学習した内容のゲームや、絵かるたを使って英語の会話を取り入れたゲームをした。そのおかげで、子どもたちは習った英語を少しは忘れずに覚えていたと感じる。」

前期学校評価の自由記述欄に上記の記述がある。1学期よりモジュールにおける英語指導の内容や方法について工夫し、METによる授業と授業をつないでいこうと意識することができた。そのことで児童の英語への意識が高まったり、理解が定着したりしてきたのではないだろうか。

職員も英語の授業を重ねることで、指導の自信や工夫する意欲が高まってきた。